

身体障害者スポーツ大会で 念願の初優勝！

身体障害者の体力維持・増強、機能回復を図り、新たな可能性を発見する契機を創るとともに、身体障害者への認識を深め、社会参加を促進することを目的に「第46回沖縄県身体障害者スポーツ大会」が8月29日に開催されました。南部地区チームに所属する西原町からは14名が参加、各競技で奮闘しました。西原町の選手は7名が優勝するなどの活躍で、南部チームが念願の初優勝。駆けつけた応援団や関係者とともに、喜びを分かち合いました。



西原町のお家芸！ なぎなた大会で小中学生が大活躍

JOCジュニアオリンピック全国中学生なぎなた大会が新潟県で行われ、演技の部で米須千祥(ゆきな)、玉那覇葉月(共に西原東中)の組が優勝、全国の頂点に立ちました。また、慶留間幸音、新里奈々、稲福和香奈(すべて西原東中)が団体に出場し5位、慶留間さんは個人でも5位に入賞しました。東京都で行われた全日本少年少女武道(なぎなた)錬成大会では、演技で米城映里花(西原小6年)瀬長桃子(同5年)組が2位、仲里美優(坂田小6年)喜久山彩恵(西原小5年)組が3位に入賞、瀬長さんは個人でも3位に輝きました。【動画】町HP「さわふじチャンネル」で公開中



草木をリサイクル！ 特選腐葉土「かえるくん」を販売開始

(社)西原町シルバー人材センター(翁長正吉理事長)は、特選腐葉土「かえるくん」の販売開始のため、9月7日に初出荷のセレモニーを行いました。「かえるくん」は廃棄される草木をチップ化、発酵させた有機質堆肥を製品化したもので、家庭菜園や農家で広く活用できます。「かえるくん」は、町内のJAやシルバー人材センターで直接お求めください。【動画】「かえるくん」動画を町HP「さわふじチャンネル」で公開中



まちの話題

南西石油(株)の 取引先説明会を開催

南西石油(株)取引先登録説明会が8月13日、町商工会で開催され、約80社の町内事業所が出席しました。2007年にブラジル国営石油会社ペトロプラスが買収した南西石油(株)は、今年度から本格的に設備の改修や新規事業への参入のため、延べ1,000億円の投資事業を計画しています。その投資事業に対し、町内企業への優先発注や下請、物品購入などでの町内商工業への還元を町が要請した結果、説明会が実現しました。出席した企業は、説明会を聞いたうえで南西石油に対する取引先としての登録を行うことで、今後の大型投資事業に関っていくことになります。説明にあたった島袋栄喜購買部長は、「西原町への地域貢献を目指して取り組む方針。手続きがなされれば取引が可能なので、積極的に町内企業を活用したい」と語りました。



教育先進地、秋田に学べ —教育講演会で秋田県派遣に参加の教員が講演—

西原町、中城・北中城村の3町村の学力向上対策協議会は、学力向上対策事業の一環として8月12日に教育講演会を開催しました。講演会には、平成21年度に秋田県教員相互派遣事業によって秋田県の小中学校で1年間教職経験をした上原正人さん(那覇市松川小教諭)と比嘉利博さん(うるま市伊波中教諭)が、学力テスト全国1位の実績を持つ秋田県の実情を報告しました。上原さんの講演では「秋田の教育は当たり前を決め細やかに指導する。教師の意識も高く、質の向上につながっている」と沖縄との違いを説明。講演会に出席した約300名の3町村の学校教師は熱心に講義を聞いていました。



新庁舎等複合施設の建設に向け、 基本設計業務契約を締結

庁舎等複合施設建設では、平成22年8月12日、庁舎等複合施設基本設計業務の設計者選定を指名型プロポーザル方式で行い、審査の結果、(有)長谷部建築研究所/(資)松田・睦設計事務所JVを設計業者に特定しました。業務期間は平成23年2月28日となっています。基本構想では、町庁舎等複合施設の基本構想は、敷地面積約14,300㎡、延面積約8,000㎡、庁舎と地域交流センター、保健センター、地域防災センターの機能に分かれた複合施設になっています。今後は基本構想の具体化を図り、基本設計業務と併行して物件補償や用地購入等を行い、その後の実施設計を経て23年度には用地造成工事に着手し順次、本体建設工事、外構工事を発注し、25年度内の完成を目指すことになっています。



プロポーザル審査の結果を町長に報告する
平啓介審査委員長(左から3人目)

消防士のお仕事を体験！ —東部消防組合ファイヤーフェスティバル—

消防・救急・救助を体験することで消防職員との触れ合いを深め、防災意識を高めることを目的に、「第10回ファイヤーフェスティバル」が8月29日、東部消防本部で開催され、約200名の親子が参加、さまざまな消防署の仕事を体験しました。放水体験コーナーでは、防火服を着た子どもたちが消防署員の手助けを受けながら、5メートルほど先の的に向かって放水。勢いよく水が噴射するホースを一生懸命両手で抱えて的を狙い、的を倒すと笑顔がこぼれていました。そのほか、煙が立ち込める建物内を体験するコーナーや消火体験などを通じて、消防の仕事を学んでいました。



西原へようこそ！ 都留市と町内の小学生が交流会

青少年交流事業の一環として、山梨県都留市の小学生と交流する「青少年ふれあいの旅」が8月11日に行われました。都留市から39名の小学生が本町を訪問、2日間に渡って町内の小学生と交流を深めました。1日目のレセプションでは琉球舞踊やよさこいソーランを互いに披露。メッセージカードを交換し、親睦を図りました。2日目は西原マリンパークでバーベキューなどを楽しみ、海のない山梨から来た都留市の子どもたちはきれいなビーチに大はしゃぎでした。

【動画】交流会の様相を町HP「さわふじチャンネル」で公開中



西原町立図書館が6周年を 記念し、講演会を開催

8月で6周年を迎えた町立図書館は8月29日、本町出身で民俗学の権威である比嘉春潮氏について、その功績を学ぶことを目的にした「比嘉春潮先生に学ぶ」と題した講演会を開催しました。会では新川明さん(元沖縄タイムス社取締役会長)が講師として招かれ、約50人の町民が参加しました。



講師の新川明さん(右上)

世代を超えて島野菜の活用促進を —島やさい料理親子交流会を開催—

町生活研究会主催の「島やさい料理親子交流会」が8月13日に開催され、3世代47名の親子が参加、沖縄伝統の島野菜を使用した調理に挑戦しました。この交流会は、長寿県沖縄を維持するために子や孫たちに島野菜のおいしさを体験させ、沖縄伝統の家庭料理を伝承することが目的。食材はできる限り町内で栽培された野菜を使用することで、地産地消にも取り組みました。完成した料理はジュースや和え物など計9種類。普段はなじみの薄い食材でしたが、自分たちで調理した料理に子どもたちは舌鼓を打っていました。【動画】町HP「さわふじチャンネル」で公開中

